

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社 上場取引所 札  
 コード番号 3849 URL http://www.ntl.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 泳成  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 鈴木 孝男 (TEL) 03-5276-2810  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	267	21.6	△46	-	△45	-	△30	-
27年3月期第2四半期	219	19.6	△29	-	△28	-	△19	-
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	△37.77		-					
27年3月期第2四半期	△24.30		-					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,122	854	76.1
27年3月期	1,064	885	83.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 854百万円 27年3月期 885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年3月期	-	0.00			
28年3月期(予想)			-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700	29.0	58	147.1	60	139.7	35	96.0	43.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期2Q	848,000株	27年3月期	848,000株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	50,300株	27年3月期	50,300株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	797,700株	27年3月期2Q	797,700株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 研究開発費の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、既存顧客への運用支援を行いながら製品の品質・機能を向上させ、顧客満足度を上げることによりユーザとの信頼関係を築きつつ、競争力のさらなる強化に努め、新規ユーザを獲得すべく営業活動に邁進してまいりました。

当第2四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、イメージング&プリンタコントローラ事業、ストレージソリューション事業、セキュリティ事業、ビジネスソリューション事業の全4事業において、売上高が増加いたしました。売上高における区分別の増減としましては、受託売上高、保守売上高が減少し、商品売上高および製品売上高が増加いたしました。これに伴い、販売原価、販売費及び一般管理費が増加したことにより、イメージング&プリンタコントローラ事業を除く3事業において、利益が減少し、増収減益となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は267,025千円（前年同四半期比21.6%増）、営業損失は46,462千円（前年同四半期営業損失は29,449千円）、経常損失は45,803千円（前年同四半期経常損失は28,852千円）、四半期純損失は30,136千円（前年同四半期四半期純損失は19,386千円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

#### (イメージング&プリンタコントローラ事業)

当事業におきましては、主に産業用インクジェット・プリンタ制御ソフトウェア(\*1)、広巾長尺プロッタ制御ソフトウェア(\*1)、ポストスクリプト・ラスライザ(\*2)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第2四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、受託開発売上高及び保守売上高は減少いたしましたが、製品売上高が増加したことにより、全体の売上高は増加いたしました。これに伴い、販売原価、販売費及び一般管理費が増加いたしましたが、利益を増加させることができ、増収増益となりました。

その結果、売上高は114,106千円（前年同四半期比19.2%増）、利益は35,709千円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

#### (ストレージソリューション事業)

当事業におきましては、主に可搬型記憶媒体システム(\*3)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第2四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、保守売上高は減少いたしましたが、商品売上高及び製品売上高が増加したことにより、全体の売上高は増加いたしました。これに伴い、販売原価、販売費及び一般管理費が増加したことにより、利益が減少し、増収減益となりました。

その結果、売上高は30,638千円（前年同四半期比40.0%増）、損失は9,723千円（前年同四半期損失は9,592千円）となりました。

#### (セキュリティ事業)

当事業におきましては、主にセキュリティプリントシステム(\*4)および統合監視映像システム(\*5)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第2四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、受託売上高は減少いたしましたが、商品売上高、製品売上高及び保守売上高が増加したことにより、全体の売上高は増加いたしました。これに伴い、販売原価、販売費及び一般管理費が増加したことにより、利益が減少し、増収減益となりました。

その結果、売上高は97,880千円（前年同四半期比24.7%増）、損失は22,952千円（前年同四半期損失は5,236千円）となりました。

#### (ビジネスソリューション事業)

当事業におきましては、主に顧客のニーズに応じた特殊なソフトウェアの受託開発、販売および保守業務を行っております。

当第2四半期累計期間におきましては、前年同四半期比として、商品売上高、製品売上高及び保守売上高は減少いたしましたが、受託売上高が増加したことにより、全体の売上高は増加いたしました。これに伴い、販売原価、販売費及び一般管理費が増加したことにより、利益が減少し、増収減益となりました。

その結果、売上高は24,399千円（前年同四半期比4.0%増）、利益は2,637千円（前年同四半期比65.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりです。

#### (流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産合計は769,799千円と前事業年度末に比べて50,136千円増加しました。増加した主な要因は、受取手形及び売掛金が69,425千円、仕掛品が22,600千円減少しましたが、現金及び預金が113,417千円、商品及び製品が11,260千円、繰延税金資産が15,589千円増加したこと等によるものです。

#### (固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産合計は352,634千円と前事業年度末に比べて7,676千円増加しました。増加した主な要因は、保険積立金が9,713千円増加したこと等によるものです。

#### (流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債合計は199,803千円と前事業年度末に比べて90,656千円増加しました。増加した主な要因は、未払金が21,115千円、未払法人税等が7,536千円、未払消費税等が10,192千円減少しましたが、買掛金が5,273千円、短期借入金が100,000千円、前受金が22,543千円増加したこと等によるものです。

#### (固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債合計は68,006千円と前事業年度末に比べて2,341千円減少しました。減少した主な要因は、長期未払金が2,166千円減少したこと等によるものです。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計854,624千円と前事業年度末に比べて30,501千円減少しました。減少した主な要因は、四半期純損失の計上等により利益剰余金が30,136千円減少したこと等によるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期累計期間に比べ34,907千円増加し、523,841千円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は25,466千円となりました。主な要因は、税引前当期純損失45,581千円、売上債権の減少69,351千円、たな卸資産の減少11,218千円、未払金の減少19,862千円、未払消費税等の減少10,192千円等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、減少した資金は12,048千円となりました。主な要因は、保険積立金の積立による支出9,713千円、有形固定資産の取得による支出2,665千円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、増加した資金は100,000千円となりました。これは短期借入れによる収入100,000千円によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ① イメージング&amp;プリンタコントローラ事業

当事業におきましては、製薬業界向け錠剤印字システム（ジェネリック薬品対応）が好調であり、下期から来年度にかけてカラー化対応などの要求もあり関係ジョブの受注が見込まれます。また、インクジェットデジタル印刷は、オフィスから産業用途向け、特に大型機印刷は印刷巾が1000mm以上のシステム案件の引合いも出始め、来期以降には捺染印刷機や段ボール印刷機への展開が見込まれており、これらの市場に対し、積極的に営業活動を行なってまいります。

## ② ストレージソリューション事業

当事業におきましては、Blu-rayチェンジャー200枚(20TB)に対し、サーバ装置、可搬型記録媒体システム(\*3)、およびHDD装置(16TB)をオールインワンにしたアプライアンスシステム(\*6)を販売開始いたしました。従来の大規模高価格システムと異なり、中小一般(製造)会社向けに低価格システムの供給が可能になり、新しいマーケットに向けて市場開拓を推進し、営業拡販に努めてまいります。

## ③ セキュリティ事業

当事業のセキュリティプリントシステム部門におきましては、前期同様、セキュリティプリントシステム(\*4)、セキュリティプリントログ(\*7)を基軸とし、海外展開を目標として営業活動を展開してまいります。セキュリティプリントログは、他社製品に見られるログの取りこぼしが一切発生しないという検証結果のもと、大手証券会社に採用されました。セキュリティプリントシステムは官公庁からの引き合いをいただいております、さらなる機能追加を含め、製品機能と性能の向上に努めてまいります。

当事業の統合監視映像システム部門におきましては、特に電力変電所監視のニーズが高まり、引き合い数が増えております。また、フードディフェンスのニーズも旺盛となっております。すでに大手食品メーカーへの複数の納入を行っている本市場に対し、チャネルパートナーと協業しながら販促活動を積極的に行い、当社の強みである堅牢なソフトウェア構造と柔軟なカスタマイズ技術力をアピールすることにより、他社との差別化を図りつつ営業活動を展開してまいります。

## ④ ビジネスソリューション事業

当事業におきましては、サービスを通じて既存顧客を積極的に維持するとともに、当社の技術、およびノウハウにより問題を解決し、顧客満足度の向上、及び顧客の企業価値を高めることに努めてまいります。同時に最新の市場ニーズや動向をくみ上げ、新たな柱となり得る新規分野への参入に戦略的な意思を持って取り組んでまいります。

(\*1) ソフトウェア名：Mistral

(\*2) ソフトウェア名：PSR

(\*3) ソフトウェア名：MnemosNEXT

(\*4) ソフトウェア名：SPSE

(\*5) ソフトウェア名：FireDipper

(\*6) ソフトウェア名：MnemosBOX

(\*7) ソフトウェア名：SPSE Print Logger

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	410,423	523,841
受取手形及び売掛金	221,124	151,699
商品及び製品	29,242	40,503
仕掛品	43,131	20,530
前払費用	11,690	12,469
繰延税金資産	1,557	17,147
1年内回収予定の長期貸付金	2,441	2,441
その他	341	1,366
貸倒引当金	△290	△200
流動資産合計	719,663	769,799
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,199	12,199
減価償却累計額	△10,301	△10,594
建物(純額)	1,898	1,605
車両運搬具	10,039	10,039
減価償却累計額	△9,040	△9,290
車両運搬具(純額)	998	748
工具、器具及び備品	42,374	40,998
減価償却累計額	△35,652	△34,511
工具、器具及び備品(純額)	6,722	6,487
有形固定資産合計	9,619	8,841
無形固定資産		
特許権	509	422
商標権	440	382
ソフトウェア	2,182	1,609
電話加入権	1,569	1,569
無形固定資産合計	4,702	3,984
投資その他の資産		
投資有価証券	3,532	2,991
関係会社株式	21,000	21,000
出資金	10	10
差入保証金	49,385	49,385
保険積立金	252,409	262,122
その他	6,000	6,000
貸倒引当金	△1,700	△1,700
投資その他の資産合計	330,636	339,809
固定資産合計	344,958	352,634
資産合計	1,064,621	1,122,434



(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,626	29,899
短期借入金	-	100,000
未払金	29,311	8,196
未払費用	11,298	12,964
未払法人税等	9,458	1,921
未払消費税等	13,854	3,661
前受金	18,251	40,794
預り金	2,167	2,268
その他	179	96
流動負債合計	109,147	199,803
固定負債		
長期末払金	69,614	67,448
繰延税金負債	733	558
固定負債合計	70,347	68,006
負債合計	179,495	267,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,200	401,200
資本剰余金	395,700	395,700
利益剰余金	122,960	92,824
自己株式	△36,271	△36,271
株主資本合計	883,589	853,452
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,537	1,172
評価・換算差額等合計	1,537	1,172
純資産合計	885,126	854,624
負債純資産合計	1,064,621	1,122,434

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	219,579	267,025
売上原価	113,136	143,205
売上総利益	106,443	123,819
販売費及び一般管理費	135,892	170,282
営業損失(△)	△29,449	△46,462
営業外収益		
受取利息	133	477
保険事務手数料	429	427
その他	94	83
営業外収益合計	656	988
営業外費用		
支払利息	-	246
為替差損	60	37
その他	-	45
営業外費用合計	60	329
経常損失(△)	△28,852	△45,803
特別利益		
固定資産売却益	-	259
特別利益合計	-	259
特別損失		
固定資産除却損	-	36
特別損失合計	-	36
税引前四半期純損失(△)	△28,852	△45,581
法人税、住民税及び事業税	145	145
法人税等調整額	△9,611	△15,589
法人税等合計	△9,466	△15,444
四半期純損失(△)	△19,386	△30,136

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△28,852	△45,581
減価償却費	3,400	2,801
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△140	△90
固定資産売却損益(△は益)	-	△259
固定資産除却損	-	36
受取利息	△133	△477
支払利息	-	246
売上債権の増減額(△は増加)	117,148	69,351
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,592	11,218
仕入債務の増減額(△は減少)	△51,871	5,273
前受金の増減額(△は減少)	2,448	22,543
未払金の増減額(△は減少)	△1,399	△19,862
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,439	△10,192
その他	4,302	△1,142
小計	48,750	33,865
利息及び配当金の受取額	71	47
利息の支払額	-	△246
法人税等の還付額	3,807	-
法人税等の支払額	△1	△8,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,628	25,466
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	△5,823	△2,665
有形固定資産の売却による収入	693	330
保険積立金の積立による支出	△9,431	△9,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	85,438	△12,048
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△28	-
短期借入れによる収入	-	100,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28	100,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	138,037	113,417
現金及び現金同等物の期首残高	350,897	410,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	488,934	523,841

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(i) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソ リューション 事業	セキュリティ 事業	ビジネスソリュ ーション事業	
売上高					
外部顧客に対する売上高	95,733	21,889	78,493	23,462	219,579
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	95,733	21,889	78,493	23,462	219,579
セグメント利益又は損失(△)	32,816	△9,592	△5,236	7,709	25,696

(ii) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	25,696
全社費用(注)	△55,146
四半期損益計算書の営業損失(△)	△29,449

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② 当第2四半期累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

(i) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	イメージング&プリンタコントローラ事業	ストレージソリューション事業	セキュリティ事業	ビジネスソリューション事業	
売上高					
外部顧客に対する売上高	114,106	30,638	97,880	24,399	267,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	114,106	30,638	97,880	24,399	267,025
セグメント利益又は損失(△)	35,709	△9,723	△22,952	2,637	5,671

(ii) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	5,671
全社費用(注)	△52,134
四半期損益計算書の営業損失(△)	△46,462

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

(受注状況)

当第2四半期累計期間の受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	216,299	60.1	198,679	227.9
ストレージソリューション事業	32,092	28.8	4,466	△45.4
セキュリティ事業	257,991	53.4	186,235	56.3
ビジネスソリューション事業	20,777	△13.5	1,471	111.7
合計	527,159	49.7	390,853	107.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注) 受注残高合計の内、当事業年度に売上が見込まれる受注残高は198,682(千円)であります。

(販売実績)

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	金額(千円)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	114,106	19.2
ストレージソリューション事業	30,638	40.0
セキュリティ事業	97,880	24.7
ビジネスソリューション事業	24,399	4.0
合計	267,025	21.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (2) 研究開発の状況

当第2四半期累計期間における当社の研究開発費の総額は、50,100千円(前年同期比28.5%増)となりました。その内容は主に、MnemosNEXT開発、SPSE新機能開発、FireDipper新機能開発、MnemosNEXT開発等に関する研究開発活動であります。